

令和6年度 当初予算案

問 財政課 ☎内線1221

一般会計 327億3,000万円 (前年度比9.1%増額)

特別会計 163億8,900万円 (前年度比0.3%増額)

企業会計 27億7,700万円 (前年度比4.3%増額)

合計 518億9,600万円 (前年度比5.9%増額)

令和6年度予算編成にあたっては、少子高齢・人口減少に打ち勝つため、子育て施策やDXの推進による行政サービスの充実などに取り組み、社会の変化やニーズを的確に捉えながら、すべての事業において、前例踏襲による予算計上といった考えを一掃し、優先順位を洗い直しました。

事業の廃止や費用対効果等の検証による大胆なコストの削減を図りつつ、市民サービスの低下につながるよう、各事業の必要性、緊急性、費用対効果を検証した上で、限りある財源を効果的、効率的に配分することによる「選択と集中」により、事業採択を行いました。

すべての人が生き生きとした人生を送るまち

健康・医療・福祉

1



令和6年度は、令和7年4月1日受診分から18歳未満の子ども医療費無償化を目指し、システム改修等の準備を進めていきます。

医療機関で健康保険を使用して受診した際の一部負担金の経済的負担を軽減し、安心して出産・子育て等ができるようになります。

● **子どもの医療費無償化に向けた準備をする**
新規 981万円
(担当/保健福祉部)

● **予防接種を実施する**
継続 2億583万8千円
● **大人の風しん抗体検査と予防接種を実施する**
継続 446万8千円
(担当/保健福祉部)

予防接種法に基づいて各種予防接種を実施します。予防接種を実施することで、感染症の罹患と重症化を予防します。市の独自施策として令和3年度から実施している子ども(未就学児、中学校3年生、高校3年生)のインフルエンザ予防接種の助成等を継続して行い、健康支援を行います。

国の施策として、過去に公的予防接種を受けていない世代を対象に風しん抗体検査と予防接種を実施しており、令和6年度が計画の最終年度となっています。

また、令和6年度は子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種の最終年度となっています。

7
7つの政策分野
令和6年度重要施策

市では、2040年度までを基本構想期間とした「**牛久市第4次総合計画基本構想**」に基づき、「笑顔あふれるにぎわいとやすらぎのあるまちうしく」を将来像と定めています。行政運営を進めていくにあたって、次の7つの政策分野を定め、それぞれの分野の目標実現に向けた政策を展開しています。各分野における令和6年度の主な施策についてご紹介します。

● **妊産婦と乳幼児に医療機関検診を実施する**
一部新規 4419万円
● **乳幼児集団健診を実施する**
継続 530万8千円
(担当/保健福祉部)

妊産婦や乳幼児への健診等を実施しています。令和4年度から取り入れている、新生児聴覚検査への助成、3歳児集団健診での屈折・眼位検査を継続して行い、子どもの成長発達をサポートします。

令和6年度は新たに乳児1カ月健診に対して助成を行います。

3 しごと

● **企業を誘致し進出希望企業を審査する**

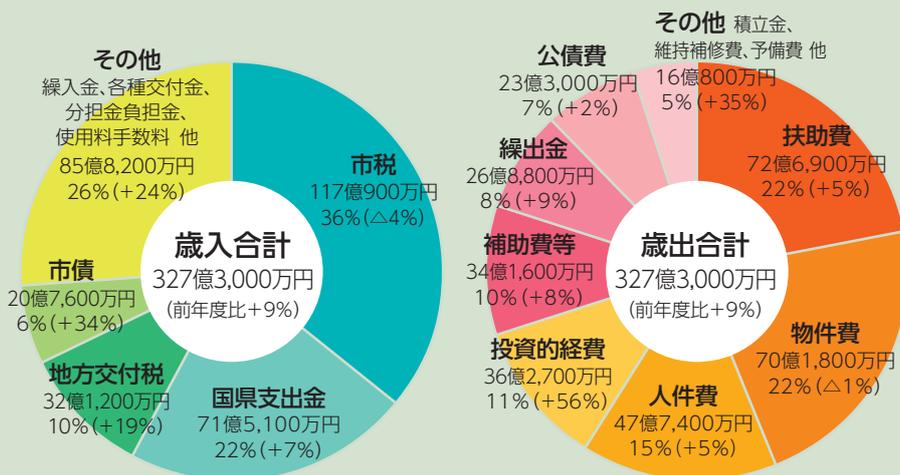


《歳入予算の状況》

一般会計の状況 ※円グラフ中()内は前年度比

《歳出予算の状況》

- 市税…定額減税の影響により、対前年度比4%の減額。
- 国県支出金…おくの義務教育学校建設事業の実施に伴い対前年度比7%増額。
- その他…ふるさと寄附のさらなる増額に取り組んだことから、寄附金およびふるさと基金繰入金の増額。繰入金は財政調整基金・公共施設等総合管理基金の取崩しなどを行ったことから増額。



- 扶助費…児童手当の拡充や障害者・障害児給付費、民間保育園運営費負担金等の増額により対前年度比5%の増額。
- 物件費…新型コロナウイルス感染症予防接種等の減額により対前年度比1%の減額。
- 人件費…会計年度任用職員の勤勉手当導入等により対前年度比5%増額。
- 投資的経費…おくの義務教育学校一体型校舎建設の増額等により、対前年度比56%の増額。

未来を拓き、地域を担う人が育つまち

教育・文化 2

このほか、保育園への給食の支援についても引き続き実施します。

**●物価高騰に
対する給食費の負担軽減**
継続 6938万8千円
(担当/保健福祉部・教育委員会)



幼稚園、小中学校給食の物価高騰による食材費の値上がりに対し、保護者の負担軽減を図りつつ、これまで通りの栄養バランスや量を保った給食を提供できるようにするための支援を行います。

**●学校給食を段階的に
無償化する**
新規 1億1747万円
(担当/教育委員会)

物価高騰を受け、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ることで、経済的な理由により子ども健康や学習機会が損なわれないようにすることを目的に、段階的な学校給食の無償化を実施していきます。

●小学校教育教材を整える
拡充 1234万2千円
(担当/教育委員会)

GIGAスクール構想によって、1人1台のデジタル端末による授業が実施されています。令和6年度は、小学校では新たに国語・算数、中学校では新たに国語・数学の指導者用のデジタル教科書を導入し、さらにICT教育を進めていきます。

おくの義務教育学校について、現在の北校舎(旧奥野小学校)および南校舎(旧牛久第二中学校)の建物等を、一体型施設として整備します。令和3～4年度にかけて基本実施設計等を行っており、令和5～6年度にかけて整備工事を実施していきます。

**●おくの義務教育学校
一体型校舎を建設する**
継続 21億600万7千円
(担当/教育委員会)

**●おくの義務教育学校
一体型校舎供用開始に
向け準備する**
継続 1億7013万円
(担当/教育委員会)

魅力ある「しごと」とにぎわいが生まれるまち



令和6年度は、令和5年度後期分に引き続き、ハートフルクーポン券のプレミアム分を10%から20%に拡大します。

**●ハートフルクーポン
事業を支援する**
拡充 9997万2千円
(担当/環境経済部)

消費者の利便性を図るとともに、市内商業の発展と牛久市の振興を図ることを目的に、ハートフルクーポン券事業に対し、助成を行います。

一部新規 1521万6千円
(担当/環境経済部)

商業地域の活性化・まちの賑わい・魅力の創出につながる企業の進出を促し、市内における活力強化および雇用機会の拡大を図るため、特定中心市街地事業所開設補助制度を創設します。令和6年度は、補助制度の創設に合わせて、企業誘致事業等推進基金への積み立てを行います。

次ページへ続く

7つの政策分野

（令和6年度重要施策）

4

市民共創

●行政区集会所の整備や管理に対する

助成をする

継続 2593万2千円

（担当／市民部）

行政区活動の拠点となる集会所の整備・管理にかかる経費の一部を補助すること、行政区の負担軽減と施設整備を促進し、円滑な行政区活動の推進と充実を図ります。

令和6年度の主なものとして、大中・中央行政区集会所施設の新築工事や井ノ岡行政区集会所の屋根・外壁塗装工事などに対する補助金を予算計上しています。



下根ヶ丘行政区区民会館（令和5年度新築）

5

生活基盤

●道路施設を維持補修する

継続 1億4676万円

●道路舗装を計画的に修繕する

継続 1億9000万円

（担当／建設部）

市民生活の基盤となる安全な道路施設を提供するため維持補修を行います。



市道2990号線

また、道路の長寿命化とライフサイクルコスト削減のための道路の舗装を計画的に修繕していきます。令和6年度は、市道4号線・6号線・19号線・2473号線・2990号線等の舗装修繕を行います。

多様な世代が安心快適に住み続けられるまち

●国土強靱化計画に基づく

市道を整備する

継続 1億7910万円

（担当／建設部）

国土強靱化計画に基づき、市内の通学路等の道路拡幅や歩行者通行帯の整備を行います。令和6年度は、市道4号線、52号線、53号線の整備を行います。



市道52号線（整備済み箇所）

6

環境

●公共施設等LED化の推進

継続 886万2千円

（担当／総務部、建設部）

牛久市ではこれまで、公共施設等のLED化や、市民向けLEDコーポンプン発行など、節電やゼロカーボン達成に向けて取り組んできました。令和6年度も引き続き、施設の実情に合わせリース等の手法を取り込みながら、LED化を進めてまいります。



中央生涯学習センター 多目的ホール

●ゼロカーボンのまちづくりを推進する

一部新規 333万8千円

（担当／環境経済部）

令和3年度に改定を実施した「環境基本計画」と「牛久市地球温暖化対策実行計画」に基づき、ゼロカーボンシティの実現に向けたさまざまな取り組みを実施します。本事業では引き続き、二酸化炭素排出量の削減に特に効果がある家庭用燃料電池システム（エネファーム）等の設備設置に対して補助を行うとともに、令和6年度は省エネ診断を受ける事業者への診断費用の補助を行います。

行政が市民に信頼されているまち

●DXの推進

一部新規 4224万6千円

（担当／経営企画部、総務部、保健福祉部、建設部）

行政サービス向上や行政業務効率化等のため、業務におけるデジタル化を推進しています。令和6年度は、全庁的な事務効率化に資する「KinoneやAI-OCRおよびRPA等」を導入します。また、保育施設等給付業務管理システム、電子入札の導入や、用途地域等規制状況・下水道台帳のホームページ閲覧化など、各業務におけるデジタル化も実施していきます。

●ふるさと寄附に対し

特産品を返礼する

拡充 4億9982万円

（担当／市長公室）

ふるさと納税制度により、牛久市を応援していただける寄附者を募ります。いただいた寄附金は、ご指定いただいた各種施策・事業の貴重な財源として、活用しています。

令和6年度は、さらに多くの方々に応援いただけるように、魅力的な返礼品や、ポータルサイトの拡充を図ります。

